

学校規模適正化・適正配置に関する住民説明会 実施状況をお知らせします

◇説明会の開催日・場所

【期日】平成 30 年 7 月 28 日（土）

【場所】犬迫小学校

【参加者数】36 名

鹿児島市教育委員会では、平成 30 年 3 月に「鹿児島市立小学校・中学校の学校規模適正化・適正配置に関する基本方針」を策定しました。そこで、保護者や地域の皆様と学校の現状や認識を共有するため、各地域で説明会を開催しましたので地域ごとの状況をお知らせします。

【説明会の内容】

- ①基本方針の内容の説明 ②小・中学校の現状の説明 ③質疑応答・意見聴取

◇寄せられたご意見やご質問

ご意見やご質問	回答
通学環境が変更となった場合の負担軽減の具体的な例はあるのか。	他都市では、スクールバスを導入した事例もあるようです。本市では、具体的な対策について保護者や地域の方々のご意見を伺いながら検討して参りたいと考えております。
適正化検討委員会の委員の選考はどのように行われたのか。	鹿児島市学校規模適正化検討委員会の委員は、外部団体からの推薦や委員それぞれの経験等を考慮して選任いたしました。
適正化の考えは、地域コミュニティの活性化を促すコミュニティビジョンと相反するのではないか。	今後の検討にあたっては、地域コミュニティ活動との関連についても、保護者や地域の方々との協議しながら、進めていきたいと考えております。
仮に学校を統合すると、財政的には削減効果があると思うが、スクールバスなどを導入すると、財政的な削減効果は相殺され、統合の利点はなくなると思うが。	現時点では、財政面に関する検討は行っていないところです。保護者や地域の方々との協議していく中で、必要に応じて情報提供できるよう今後検討して参ります。
犬迫小周辺の小山田、皆与志、犬迫各小学校を統合してもなお、小規模校だと思うが、地域を越えて、松元や郡山地区との統合もあり得るのか。	子供たちのよりよい教育環境が確保でき、保護者や地域の方々との協議を行う中で、検討していくことになると考えております。
適正化の考えは、既存集落活性化住宅建設事業など(住宅課所管)と相反するのではないか。	人口の減少や地域の活力が低下している地域において、既存集落活性化住宅建設事業等により、子育て世帯を対象として、小学校の周辺に市営住宅を整備してきており、地域の活力維持の一助になっていると認識しております。

裏面へ続く

説明会や意見の中では、大人たちの意見しか出てこないが、実際に学校に通う子供たちの意見を聞くべきではないか。

今後の検討にあたっては、ご指摘のことも含め、検討していくことになるものと考えております。

※すべてのご意見やご質問を掲載したものではありません。ご了承ください。

子供たちのよりよい教育環境を確保するために、皆様のご意見を伺いながら検討して参ります。

ご意見やご要望などがございましたら、右記までご連絡ください。また、説明会で使用した資料などは、市HPにも掲載していますので、ご覧ください。

鹿児島市教育委員会 (2018年10月作成)

〒892-0816 鹿児島市山下町6-1

鹿児島市教育委員会 総務課 企画調整係
(直通)099-227-1926 (FAX)099-222-8796

(Eメール) kysoumu@city.kagoshima.lg.jp

